

令和 3 年度男女共同参画事業報告について

1 男女共同参画の推進

(1) 山形市男女共同参画審議会を開催

山形市男女共同参画推進条例に基づいて、男女共同参画施策の推進について審議するため、「山形市男女共同参画審議会」を開催した。

市長から諮問を受けた第 4 次山形市男女共同参画計画「いきいき山形男女共同参画プラン」（以下、「第 4 次プラン」）の策定について審議を行い、市長に答申した。

第 1 回 令和 3 年 6 月 15 日(火)

第 2 回 令和 3 年 12 月 14 日(火)

(2) 山形市男女共同参画推進本部による推進

男女共同参画社会の実現を図るため、庁内に設置している「山形市男女共同参画推進本部（本部長：副市長）」において、令和 3 年度で計画期間が終了する第 3 次山形市男女共同参画計画「いきいき山形男女共同参画プラン」（以下「第 3 次プラン」）を総合的に推進した。

また、令和 4 年度～8 年度の計画となる第 4 次プランの検討を行い、策定した。

① 「第 3 次プラン」の進捗状況報告

令和 2 年度事業の進捗状況について全庁的な調査及び評価を行い、評価結果を山形市男女共同参画審議会に報告し、広報やまがた及びホームページで公表した。

② 「第 4 次プラン」の検討及び策定

第 4 次プラン案を山形市男女共同参画審議会へ諮問し、その答申を受けて、令和 4 年度～8 年度の計画となる第 4 次プランを策定した。

③ 審議会等における女性委員登用推進に向けた取組み

女性委員の比率を確実に向上させるため、女性委員の積極的な登用に向け、全庁的な呼びかけを行った。

④ 市職員向け「男女共同参画ニュース」の発行

職員の男女共同参画に関する理解を更に深めるため、庁内の情報ネットワークシステムを活用し、男女共同参画に係る情報の提供を行った。

○ 発行回数 2 回（6 月、11 月）

(3) 市民団体との連携推進

男女共同参画のまちづくりに向けて活動する市民団体の育成及び相互交流の促進を図った。

① 女性団体の育成

市民や行政との連携を図り、「男女共同参画のまち山形」の実現を目指して活動する女性団体の活動を支援した。

○ 山形市女性団体連絡協議会運営費補助金 600 千円

② ファーラ市民企画講座の実施（5 団体 5 講座）

市民団体の自主性を尊重しながら、広く一般市民を対象とした男女共同参画実現を目的として開催する講座等について支援を行った。

(4) 山形連携中枢都市圏連携事業による広域活用

連携中枢都市圏連携事業により、山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町の7市7町によるセンターの広域活用を行い、圏域全体での男女共同参画意識の高揚を図った。

(令和3年度から尾花沢市と大石田町が加わり7市7町となった)

2 男女共同参画計画の推進

(1) 市の審議会等委員への女性の参画推進

政策・方針の意思決定過程での女性の参画を進めるため、市の審議会等における女性委員の比率を、令和3年度までに40%とすることを第3次「いきいき山形男女共同参画プラン」の数値目標のひとつに掲げ、女性の参画を推進した。

① 女性委員の参画状況調査の実施

毎年度末に審議会等委員への女性の参画状況について調査を行い、積極的な女性委員の登用を働きかけた。

○ 令和4年3月31日現在 女性委員の比率 29.8%

<参考>

参画率の推移

※基準日：3月31日現在

調査年	審議会			審議会委員		
	審議会総数	女性委員を含む審議会の数	女性委員を含む審議会比率	委員総数	女性委員の数	女性委員の比率
H24	35	33	94.3%	565	155	27.4%
H25	35	33	94.3%	568	160	28.2%
H26	36	35	97.2%	594	171	28.8%
H27	35	34	97.1%	580	167	28.8%
H28	37	36	97.3%	611	173	28.3%
H29	37	36	97.3%	622	179	28.8%
H30	37	36	97.3%	624	182	29.2%
H31	37	37	100.0%	625	187	29.9%
R2	38	38	100.0%	648	202	31.2%
R3	38	37	97.4%	649	195	30.0% (35.3%)※
R4	38	37	97.4%	658	197	29.8%

※行政機関等の充て職を除いた女性委員の割合

○ 女性委員比率別審議会一覧（令和4年3月31日現在）

女性委員比率	審議会数	審議会の名称（順不同）
40%以上	15 (39.5%)	○文化財保護委員会 ○男女共同参画審議会 ○男女共同参画センター運営委員会 ○スポーツ推進審議会 ○消費生活審議会 ○個人情報保護制度運営審議会 ○情報公開・個人情報保護審査会 ○環境審議会 ○清掃問題審議会 ○民生委員推薦会 ○働く女性の会運営委員会 ○子ども・子育て会議 ○開発審査会 ○社会教育委員 ○市立図書館協議会
30%～39%	9 (23.7%)	○国民健康保険運営協議会 ○郷土館運営協議会 ○予防接種健康被害調査委員会 ○社会福祉審議会 ○介護認定審査会 ○障害支援区分判定審査会 ○森林整備推進協議会 ○景観審議会 ○総合学習センター運営協議会
20%～29%	7 (18.4%)	○住居表示委員会 ○行政不服審査会 ○老人ホーム入所判定委員会 ○都市計画審議会 ○建築審査会 ○水防協議会 ○少年自然の家運営協議会
10%～19%	5 (13.2%)	○防災会議 ○交通安全対策会議 ○感染症診査協議会 ○自転車等駐車対策協議会 ○青少年問題協議会
10%以下	2 (5.3%)	○国民保護協議会 ○公設地方卸売市場取引委員会

② 女性人材バンクの整備・活用

市の審議会等の委員又は研修会の講師等としてふさわしい女性の人材バンクを整備し、各課へ情報の提供を行った。

- 登録者 79名（令和4年3月末日現在）
- 情報提供 審議会等委員の改選に係る情報提供 4件

(2) 男女共同参画意識の啓発

① 情報紙「ファーラ」の発行

男女共同参画社会の形成を目指して、男女共同参画に係る様々な情報を広く提供するため、情報紙を発行した。

- 発行 年2回：9月、3月
- 発行部数 各3,600部
- 配布

配置 市役所、男女共同参画センター、公民館、コミュニティセンター、市立図書館、霞城セントラル内の市の施設、市内子育て支援センター、高齢者交流サロン等に、自由持ち帰り用として配置した。

送付 市内の従業員5人以上の事業所及び学校、男女共同参画関係機関、団体等、合計約2,100箇所を送付した。

※ 講座情報を掲載した「ファーラお知らせ版」も2回発行（7月・2月）

② 小学生用男女共同参画学習資料の配布

小学校における男女共同参画を啓発するため、小学 2・4・6 年生を対象とする男女共同参画学習資料を作成し、市内小学校へ配布するとともに、活用の促進を図った。

○ 配付部数

小学生用学習資料	2 学年	2,400 部
「きらり かがやいて」	4 学年	2,500 部
	6 学年	2,550 部
教師用学習資料「活用にむけて」		620 部

○ 令和 3 年度の活用状況（アンケート調査結果）

活用の場面	2 年生	4 年生	6 年生
「きらり かがやいて」のみで授業を行った	39.5%	36.9%	34.2%
授業以外（朝の会など）で活用した	39.5%	52.6%	39.5%
配布のみ	18.4%	10.5%	23.7%
その他	2.6%	0%	2.6%

(3) イクボス制度の啓発

男女がともに働きやすい・働きがいのある職場環境の整備を促進するため、イクボス制度に関する啓発を図った。

① 山形市役所管理職によるイクボス宣言の実施

山形市役所内での「イクメン応援全力プラン」の実施

- ・子どもが生まれた職員への市長からのお祝いメッセージ贈呈、育児休業の取得計画及び状況報告提出 など

② 広報やまがた、情報紙等によるイクボス制度の周知啓発

(4) ワーク・ライフ・バランス講演会の実施

家事・育児・介護等を男女がともに担い、一人ひとりが自分らしい生き方を選択するため、男性の家事参画やワーク・ライフ・バランスの推進に関する啓発を図る講演会を実施した。

- 月日 令和 3 年 11 月 13 日（土）
- 講師 瀬地山 角 氏（東京大学大学院総合文化研究科教授）
- 内容 男性の家事が世界を救う！？
～笑って考えよう！家庭のこと、仕事のこと～
- 参加者 91 名

(5) DV 防止及び支援対策

① DV 対策庁内連絡会議の開催

「配偶者等からの暴力」相談への対応に関し、庁内の関係課等の連絡会議を開催した。関係課等が相互に連携しながら、DV 被害者に対する適切な支援、取組みの推進を図った。

（参考）令和 3 年度 DV 相談件数 延べ 323 件

相談実人数 231 人（男性 19 人・女性 212 人）

② 相談窓口担当者研修会の開催

DV被害者から相談を受ける職員のスキルアップを図るため、専門家による研修会を開催した。

- 月日 令和3年12月19日(木)
- 講師 東北文教大学人間科学部人間関係学科 教授
花屋 道子氏
- 内容 相談対応スキルアップ術
～ソリューション・フォーカスト・アプローチの考え方を軸に～
- 参加者 25名

③ DV防止の啓発

様々な機会をとらえてDV防止のパンフレット等を配付した。また、市役所本庁舎、図書館、公民館等の市有施設にDV被害に関する相談案内カードを設置するとともに、市内の大型スーパーなどに、カードの設置を依頼した。

④ パープルリボン・プロジェクトの実施

「女性に対する暴力をなくす運動」週間(11月12日～25日)に合わせ、パープルリボンツリー・DV防止啓発パネルの展示、市管理職によるパープルリボン着用、啓発グッズ・啓発リーフレットの配布等を実施した。

- パープルリボンツリー・パネル展示
 - 市役所1階エントランスホール 11月15日(月)～18日(木)
 - ファースト4階交流フロア 11月12日(金)～25日(木)
- 市管理職によるパープルリボンの着用
- DV防止啓発グッズ・啓発リーフレットの配布
 - 市内高校・大学・学習施設(マナビー)に啓発リーフレット・DV相談カード入りポケットティッシュを配布

(6) 性の多様性に関する理解促進への取組み

多様な考え方、多様な生き方、多様な性を互いに認め合い、尊重できる社会づくりのため、性の多様性に関する理解促進を図った。

① 性の多様性に関する図書コーナーの充実

- 男女共同参画センター性の多様性関連書籍数 69冊(令和3年度末)

② LGBT 講座の開催

- 市民向け講座
 - 月日 令和4年2月17日(木)
 - 講師 山形大学人文社会学部人文社会科学科准教授
池田 弘乃氏
 - 内容 “ふつう”って何だろう?
～性的指向・性自認(SOGI)の多様性をめぐって～
 - 参加者 13名

○ 学校教職員（養護教諭）向け研修会の開催

※新型コロナウイルス感染症の拡大により実施見合わせ

月日 令和4年1月27日（木）

講師 福島学院大学副学長・大学院心理学研究所教授・

学校心理士スーパーバイザー 梅宮 れいか 氏

対象 市内小中学校養護教諭

③ 市民向けリーフレット

性の多様性に関するリーフレットを市有施設に設置し、またデータをホームページにも掲載し、性の多様性に関する市民の理解促進を図った。

3 男女共同参画宣言都市事業

男女共同参画宣言都市としての気運を醸成するため、男女共同参画に関する作品を募集した。自由な形式で思いをつづる「一行詩」と、男女が生き生きと活動する姿を捉えた「写真部門」の2部門で開催した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止したが、令和3年度は、幅広い年代の方から、一行詩部門 1,886点（大学・一般の部 272点、中学・高校の部 1,614点）、写真部門 15点の応募があり、8月の審査会で最優秀賞ほか、各賞の入賞者を決定し、11月13日に表彰式を行った。

【参考】

一行詩部門 大学・一般の部 最優秀賞

「女性が増えれば、視点が変わり

視点が変われば、現状を変えることができる」

4 男女共同参画センター事業

(1) 学習事業

第3次「いきいき山形男女共同参画プラン」に基づき内容の事業を実施した。

① 自主企画講座（14講座40回）

種別	実施状況	受講者数
女性人材養成講座 ※H11～、R3：12期2年目 ファースト大学12期生14名	6回	73名
女性学講座	2回	30名
エンパワーメント講座	2回	39名
男女共同参画都市宣言記念講座	1回	24名
男女共同参画講座	2回	23名
イクメン・カジメン・イクジイ講座	2回	47名
育児サークルリーダー研修会	3回	29名
DV防止講座	3回	24名
働く女性の講座	4回	20名
健康講座	4回	66名
女性活躍推進講座	2回	23名
LGBT講座（再掲）	1回	13名
小・中学生向け出前講座 ※	3回	379名
企業・事業所向け出前講座 ※	2回	40名

※ 出前講座（2講座7回）

- 小・中学生向け出前講座（5回）
第五小学校、みはらしの丘小学校、村木沢小学校、第三中学校、山寺中学校
- 企業・事業所向け出前講座（2回）（有）山形義肢研究所、東北エンジニアリング(株)

(2) 男女共同参画宣言都市事業

① 男女共同参画週間関連事業の実施

- 男女共同参画に関するパネル展示（6月23日～29日）
場所 山形市役所1階エントランスホール、男女共同参画センター「ファーラ」
- 男女共同参画宣言都市記念講座の開催
月日 令和3年6月24日（木）
講師 東北文教大学短期大学部特任教授 熊谷 義隆 氏
内容 「源氏物語」紫式部が伝えたかった事
参加者 24名
- 法律相談 「女性の権利110番」の実施（6月25日）
共催 山形県弁護士会 相談件数 8件

(3) 市民活動支援事業

① ファーラ市民企画講座（5団体5講座）（再掲）

② 貸館（貸室）事業実績

	利用者数	男性	女性
令和3年度	4,568人	1,409人	3,159人
令和2年度	4,849人	1,448人	3,401人
令和元年度	11,347人	3,249人	8,098人

※蔓延防止等重点措置期間中は使用人数を約半分にするなどの対応を行った。

(4) 相談事業

① 一般相談（女性カウンセラーによる心の健康、夫婦、親子に関する相談）

実施日等：開館日毎日、週27時間、予約制

	相談件数	相談人数		
		男性	女性	
令和3年度	282件	201人	35人	166人
令和2年度	458件	253人	61人	205人
令和元年度	548件	317人	72人	245人

② 法律相談（弁護士による離婚、相続、損害賠償に関する相談）

実施日等：毎月第2・第3・第4金曜日、16時～18時、予約制

	相談件数	相談人数		
		男性	女性	
令和3年度	121件	121人	54人	67人
令和2年度	121件	121人	32人	76人
令和元年度	133件	133人	35人	98人

※「女性の権利110番」の相談件数を含む

③ 女性の健康相談（助産師による女性の思春期から更年期までの身体と心の相談）

実施日等：随時

	相談件数
令和3年度	68件
令和2年度	67件
令和元年度	87件

(5) 情報収集提供事業

① 図書、DVD、全国男女共同参画関連施設情報誌等の収集・提供

	蔵書数	前年比	貸出数	
令和3年度	5,233冊	△169冊	53人	135冊
令和2年度	5,402冊	△200冊	46人	90冊
令和元年度	5,602冊	+109冊	69人	151冊

※令和3年度は、蔵書点検により年数の経過した情報紙などを廃棄。

(6) 交流事業

① 男女共同参画センター4階の交流コーナーを開放

	利用者数	男性	女性
令和3年度	1,332人	629人	703人
令和2年度	1,436人	782人	654人
令和元年度	8,009人	4,497人	3,512人

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、利用時間を9時～12時、13時～17時とし席数を減らすなどして実施した。

<参考>男女共同参画センター利用状況

(講座受講者・貸館利用者・相談利用者・交流コーナー利用者の合計)

	利用者数	男性		女性	
令和3年度	6,795人	2,194人	(32.3%)	4,601人	(67.7%)
令和2年度	7,160人	2,384人	(33.3%)	4,776人	(66.7%)
令和元年度	20,497人	7,944人	(38.8%)	12,553人	(61.2%)

※利用者数 前年比 94.9% (△365人・△5.1%)

・令和元年度から令和2年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減少となったが、令和3年度も減少の傾向が続いた。(貸館(貸室)、交流コーナー利用者数を上限の半分に制限)

5 公民連携による女性人材育成事業の検討・準備

山形市・(株)Ridilover・(株)資生堂による三者の公民連携事業として女性人材育成事業を実施するための協議等を行い、令和4年度実施に向けた準備を行った。

(1) 主な経緯

令和3年11月24日 山形市と(株)Ridiloverが地方創生の推進に係る包括連携に関する協定を締結

〃 12月17日 (株)Ridiloverから「企業版ふるさと納税」協力に係る企業への打診の可否について協議があり、企業への打診を進めてもらうよう市が回答した。

令和4年3月1日 資生堂ジャパン(株)から「企業版ふるさと納税」の申出書を受理した。

令和4年3月28日 キックオフ三者共同記者会見。